



## 2023年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年1月12日

上場会社名 三協立山株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5932 URL <https://www.st-grp.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 平能 正三  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理部長 (氏名) 吉田 安徳 (TEL) 0766-20-2122  
 四半期報告書提出予定日 2023年1月12日 配当支払開始予定日 2023年2月13日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年5月期第2四半期の連結業績(2022年6月1日~2022年11月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年5月期第2四半期	187,128	13.4	875	△71.2	1,324	△52.6	514	△47.3
2022年5月期第2四半期	165,066	—	3,034	—	2,794	—	976	—

(注1) 包括利益 2023年5月期第2四半期 4,363百万円(—%) 2022年5月期第2四半期 △146百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年5月期第2四半期	16.42	—
2022年5月期第2四半期	31.14	—

(注2) 前第1四半期連結会計期間の期首より、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。)等を適用しており、2022年5月期第2四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっており、対前年同四半期増減率は記載しておりません。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年5月期第2四半期	280,543	89,804	30.9
2022年5月期	268,470	85,605	30.8

(参考) 自己資本 2023年5月期第2四半期 86,726百万円 2022年5月期 82,564百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年5月期	—	10.00	—	5.00	15.00
2023年5月期	—	10.00			
2023年5月期(予想)			—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年5月期の連結業績予想(2022年6月1日~2023年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	378,000	11.0	3,700	△2.2	4,000	△4.7	2,100	430.8	66.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 ー社(社名)ー 、除外 ー社(社名)ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年5月期2Q	31,554,629株	2022年5月期	31,554,629株
② 期末自己株式数	2023年5月期2Q	202,017株	2022年5月期	200,162株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年5月期2Q	31,353,855株	2022年5月期2Q	31,358,910株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く外部環境は、経済活動の正常化が進み、景気停滞からの持ち直しの動きがあるものの、日米金利差拡大を背景とした円安などによる資材やエネルギー価格の上昇、新型コロナウイルス感染症拡大によるサプライチェーンの混乱影響などに加え、ロシアのウクライナ侵攻を巡る地政学的リスクの高まりにより、景気下振れが懸念される状況が続いております。

このような環境のもと、当第2四半期連結累計期間における連結業績は、売上高1,871億28百万円（前年同期比13.4%増）、営業利益8億75百万円（前年同期比71.2%減）、経常利益13億24百万円（前年同期比52.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益5億14百万円（前年同期比47.3%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### **建材事業**

建材事業においては、新設住宅着工戸数のうち持家が前年同期比で減少している中で、エクステリア建材及びビル建材での売上増、特にビル改装分野が好調に推移したことから、売上高943億82百万円（前年同期比4.1%増）となりました。利益については、価格改定を進めておりますが、諸資材価格の上昇影響を吸収しきれず、セグメント損失5億96百万円（前年同期はセグメント利益17億18百万円）となりました。

#### **マテリアル事業**

マテリアル事業においては、輸送分野が減少したものの、一般機械分野が好調であったことや、アルミ地金市況に連動する売上の増加などにより、売上高293億98百万円（前年同期比19.4%増）となりました。利益については、諸資材価格の上昇影響はあったものの、収益改善施策の実施により、セグメント利益19億43百万円（前年同期比21.0%増）となりました。

#### **商業施設事業**

商業施設事業においては、小売業を中心に店舗の新規出店や改装の需要を取り込み、売上高は前年並みの208億6百万円（前年同期比0.6%増）となりました。利益については、諸資材価格の上昇に対して価格改定などを進めておりますが、円安による為替影響などにより、セグメント利益3億9百万円（前年同期比69.8%減）となりました。

#### **国際事業**

国際事業においては、アルミ地金市況に連動する売上の増加や為替影響、欧州の自動車分野が堅調に推移したことなどにより、売上高424億36百万円（前年同期比47.7%増）となりました。利益については、エネルギー価格の上昇などの影響がありましたが、欧州子会社にてコスト改善施策を進めたことにより、セグメント損失6億96百万円（前年同期比5億44百万円の改善）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて120億72百万円増加し、2,805億43百万円となりました。これは、有価証券が14億81百万円減少したものの、受取手形、売掛金及び契約資産が70億19百万円、原材料及び貯蔵品等の棚卸資産が61億17百万円、それぞれ増加したことが主な要因であります。

負債は、前連結会計年度末に比べて78億73百万円増加し、1,907億39百万円となりました。これは、退職給付に係る負債が20億94百万円減少したものの、短期借入金が55億19百万円、長期借入金が29億56百万円、支払手形及び買掛金が7億15百万円、それぞれ増加したことが主な要因であります。なお、純資産は898億4百万円、自己資本比率は30.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、2022年7月12日に公表いたしました2023年5月期の通期業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、2022年12月26日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	18,420	17,944
受取手形、売掛金及び契約資産	55,105	62,124
電子記録債権	5,486	5,573
有価証券	1,492	10
商品及び製品	19,507	21,362
仕掛品	15,931	17,727
原材料及び貯蔵品	17,407	19,874
その他	9,105	8,394
貸倒引当金	△758	△825
流動資産合計	141,698	152,186
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	22,609	22,445
土地	54,350	54,555
その他（純額）	25,156	26,519
有形固定資産合計	102,115	103,520
無形固定資産		
のれん	1,674	1,627
その他	2,533	2,562
無形固定資産合計	4,207	4,189
投資その他の資産		
投資有価証券	11,133	11,615
その他	9,980	9,726
貸倒引当金	△664	△694
投資その他の資産合計	20,449	20,647
固定資産合計	126,772	128,357
資産合計	268,470	280,543

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	49,361	50,076
電子記録債務	20,339	20,016
短期借入金	12,103	17,623
1年内返済予定の長期借入金	17,501	17,654
未払法人税等	1,381	873
賞与引当金	380	474
引当金	22	31
その他	20,736	21,207
流動負債合計	121,826	127,958
固定負債		
長期借入金	40,698	43,655
製品改修引当金	827	762
退職給付に係る負債	10,595	8,500
資産除去債務	476	480
その他	8,441	9,381
固定負債合計	61,039	62,781
負債合計	182,865	190,739
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,000	15,000
資本剰余金	31,929	31,932
利益剰余金	26,188	26,523
自己株式	△252	△253
株主資本合計	72,864	73,202
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	764	984
繰延ヘッジ損益	196	△57
土地再評価差額金	3,835	3,858
為替換算調整勘定	936	2,313
退職給付に係る調整累計額	3,966	6,425
その他の包括利益累計額合計	9,699	13,524
非支配株主持分	3,040	3,078
純資産合計	85,605	89,804
負債純資産合計	268,470	280,543

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年6月1日 至2021年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年6月1日 至2022年11月30日)
売上高	165,066	187,128
売上原価	128,968	153,554
売上総利益	36,097	33,574
販売費及び一般管理費	33,062	32,699
営業利益	3,034	875
営業外収益		
受取利息	22	28
受取配当金	50	145
持分法による投資利益	176	161
為替差益	—	294
その他	326	391
営業外収益合計	576	1,021
営業外費用		
支払利息	307	339
為替差損	283	—
その他	225	232
営業外費用合計	816	572
経常利益	2,794	1,324
特別利益		
固定資産売却益	239	17
投資有価証券売却益	7	2
その他	2	—
特別利益合計	250	19
特別損失		
固定資産売却損	16	12
固定資産除却損	193	130
減損損失	152	—
投資有価証券評価損	7	1
その他	3	—
特別損失合計	372	144
税金等調整前四半期純利益	2,672	1,198
法人税等	1,582	652
四半期純利益	1,090	546
非支配株主に帰属する四半期純利益	113	31
親会社株主に帰属する四半期純利益	976	514

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2021年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年11月30日)
四半期純利益	1,090	546
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△195	220
繰延ヘッジ損益	△269	△253
為替換算調整勘定	△721	1,394
退職給付に係る調整額	△3	2,455
持分法適用会社に対する持分相当額	△46	0
その他の包括利益合計	△1,236	3,817
四半期包括利益	△146	4,363
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△245	4,316
非支配株主に係る四半期包括利益	98	46

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2021年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年11月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,672	1,198
減価償却費	3,777	3,918
減損損失	152	—
のれん償却額	310	373
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	408	40
賞与引当金の増減額 (△は減少)	96	84
退職給付に係る資産負債の増減額	△422	△643
製品改修引当金の増減額 (△は減少)	△90	△64
受取利息及び受取配当金	△72	△173
支払利息	307	339
持分法による投資損益 (△は益)	△176	△161
投資有価証券売却損益 (△は益)	△8	△2
投資有価証券評価損益 (△は益)	7	1
固定資産売却損益 (△は益)	△223	△5
固定資産除却損	193	130
売上債権の増減額 (△は増加)	△7,503	△6,622
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△6,446	△5,273
仕入債務の増減額 (△は減少)	9,695	61
その他の負債の増減額 (△は減少)	1,121	2,360
その他	△400	△182
小計	3,397	△4,620
利息及び配当金の受取額	143	255
利息の支払額	△317	△362
法人税等の支払額	△1,270	△973
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,953	△5,700
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△911	△1,533
定期預金の払戻による収入	1,037	1,224
有価証券の売却による収入	—	1,525
有形固定資産の取得による支出	△3,990	△4,027
有形固定資産の売却による収入	399	30
投資有価証券の取得による支出	△248	△75
投資有価証券の売却による収入	8	86
貸付けによる支出	△14	—
貸付金の回収による収入	10	1
その他の支出	△480	△464
その他の収入	16	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,174	△3,232

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2021年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年11月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△2,640	5,365
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△294	△312
長期借入れによる収入	13,207	12,000
長期借入金の返済による支出	△7,972	△9,089
自己株式の売却による収入	—	0
自己株式の取得による支出	△2	△1
配当金の支払額	△467	△157
非支配株主への配当金の支払額	△5	△4
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,823	7,799
現金及び現金同等物に係る換算差額	△366	313
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△763	△820
現金及び現金同等物の期首残高	22,369	16,926
現金及び現金同等物の四半期末残高	21,606	16,106

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

一部の連結子会社において、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自 2021年6月1日 至 2021年11月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	建材 事業	マテリ アル 事業	商業 施設 事業	国際 事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	90,657	24,614	20,679	28,740	164,691	374	165,066	—	165,066
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,899	17,321	36	37	19,295	—	19,295	△19,295	—
計	92,557	41,936	20,716	28,777	183,987	374	184,361	△19,295	165,066
セグメント利益又は 損失 (△)	1,718	1,606	1,027	△1,240	3,111	△30	3,081	△46	3,034

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、賃貸事業、植物工場事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△46百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△43百万円が含まれております。全社費用は、主として各報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第2四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2022年6月1日 至 2022年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	建材 事業	マテリ アル 事業	商業 施設 事業	国際 事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	94,382	29,398	20,806	42,436	187,024	104	187,128	—	187,128
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,066	19,519	47	944	22,577	—	22,577	△22,577	—
計	96,448	48,918	20,854	43,381	209,602	104	209,706	△22,577	187,128
セグメント利益又は 損失 (△)	△596	1,943	309	△696	960	△47	912	△37	875

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、賃貸事業、植物工場事業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△37百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△34百万円が含まれております。全社費用は、主として各報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第2四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。